

12 主 要 台 風 の 記 録

	台 風 第 5 号	台 風 第 6 号	台 風 第 7 号
<<熱帯低気圧の発生>> 日時	6月4日03時	6月13日21時	6月28日09時
位置	北緯9.7度、東経131.8度	北緯21.6度、東経117.1度	北緯19.8度、東経132.8度
<<台風の発生>> 日時	6月8日03時	6月15日09時	6月29日09時
位置	北緯17.3度、東経127.9度	北緯22.7度、東経120.2度	北緯19.8度、東経130.3度
中心気圧 (hPa)	996	994	998
<<台風の最盛期>> 日時	6月10日09時	6月16日15時	7月3日03時
位置	北緯25.0度、東経130.7度	北緯26.8度、東経128.9度	北緯30.7度、東経127.8度
中心気圧 (hPa)	970	990	960
最大風速 (m/s)	30	23	35
台風の消滅日時	6月12日03時	6月17日09時	7月4日15時
台風から変わった 熱帯低気圧や温帯低気 圧の消滅日時	6月13日09時	6月22日03時	7月5日21時
台風の進路	6月4日03時にフィリピンの東海上で発生した熱帯低気圧は、北へ進んだ後、北西へ進み、8日03時に同海域で台風第5号となった。台風は進路を次第に北東へ変化させ、10日09時に沖縄本島の南東で勢力が最大となった。台風は進路を北東に保ったまま徐々に勢力を弱め、12日03時に本州の東で温帯低気圧となり、その後進路を東に変え、13日09時に日本のはるか東で消滅した。	6月13日21時に南シナ海で発生した熱帯低気圧は東へ進んだ後、15時09時に台湾海峡付近で台風第6号となり、その後すぐに台湾に上陸した。台風は東北東へと進路を変え、16日15時に沖縄本島付近で勢力が最大となった。台風は進路を東北東に保ったまま、17日09時に九州の南で温帯低気圧となり、その後徐々に進路を北東に変化させた後、22日03時に日本のはるか東で消滅した。	6月28日09時にフィリピンの東海上で発生した熱帯低気圧は西に進んだ後、29日09時に沖縄本島の南南東海上にて台風第7号となり、北西へと進路を変えた。台風は次第に北東へと進路を変え、7月3日03時に沖縄本島付近にて勢力が最大となった。台風は進路を北東に保ちながら、次第に勢力を弱め、4日15時に日本海にて温帯低気圧となり、翌日5日21時に北日本付近にて消滅した。
<<日本への影響>> 最低海面気圧 (hPa)	南大東(沖縄県) 977.7	名護(沖縄県) 988.7	福江(長崎県) 970.7
最大風速 (m/s)	えりも岬(北海道) 23.5	伊是名(沖縄県) 22.8	野母崎(長崎県) 29.8
最大瞬間風速 (m/s)	えりも岬(北海道) 33.3	伊是名(沖縄県) 30.6	糸数(沖縄県) 43.7
総雨量 (mm)※1	八重見ヶ原(東京都) 289.5 (6月9日から6月12日)	奥(沖縄県) 477.0 (6月15日から6月18日)	魚梁瀬(高知県) 892.0 (6月30日から7月5日)
主な被災地		沖縄県、鹿児島県	長崎県、福岡県、沖縄県

※1 観測地点と台風の距離に関わらず、台風や台風から変わった低気圧が日本付近に影響を与えた期間内の降水量を集計

	台 風 第 8 号	台 風 第 21 号	台 風 第 24 号
<<熱帯低気圧の発生>> 日時	7月3日09時	8月27日03時	9月20日15時
位置	北緯10.1度、東経147.8度	北緯11.0度、東経160.5度	北緯11.8度、東経146.7度
<<台風の発生>> 日時	7月4日21時	8月28日03時	9月21日15時
位置	北緯12.6度、東経145.6度	北緯14.5度、東経157.9度	北緯15.0度、東経143.7度
中心気圧 (hPa)	1000	1004	1000
<<台風の最盛期>> 日時	7月9日09時	8月31日09時	9月25日03時
位置	北緯21.8度、東経133.5度	北緯17.9度、東経144.2度	北緯19.6度、東経129.1度
中心気圧 (hPa)	915	915	915
最大風速 (m/s)	55	55	55
台風の消滅日時	7月12日03時	9月5日09時	10月1日09時
台風から変わった 熱帯低気圧や温帯低気 圧の消滅日時	7月13日09時	9月7日15時 (気象庁の担当する領域を越えた日時)	10月4日03時 (気象庁の担当する領域を越えた日時)
台風の進路	7月3日09時にマリアナ諸島近海で発生した熱帯低気圧は北西へ進みながら、4日21時に同海域で台風第8号となり、9日09時にフィリピンの北東海上にて勢力が最大となった。台風は11日09時過ぎに華南へ上陸し、12日03時に華中にて熱帯低気圧となり、13日09時に同地域にて消滅した。	8月27日03時にマーシャル諸島近海で発生した熱帯低気圧は、28日03時に同海域にて台風第21号となり、31日09時にマリアナ諸島の西海上にて勢力が最大となった。台風は非常に強い勢力を保ったまま、9月4日12時前、徳島県南部に上陸し、4日14時前、兵庫県神戸市付近に再上陸し、本州を通過し日本海へ進んだ。その後、5日09時に沿海州の沿岸にて温帯低気圧となり、5日昼前にロシアの海岸線を越えた後、7日15時に北緯60度を越えた。	9月20日15時にマリアナ諸島近海で発生した熱帯低気圧は北西に進み、21日15時に同海域にて台風第24号となった。台風は西北西に進んだ後、25日03時にフィリピンの東海上にて勢力が最大となった。その後台風は、沖縄の南海上で減速して北へ進み、徐々に北東へ向かって加速し、30日20時頃、和歌山県田辺市付近に上陸した。台風は10月1日09時に日本の東海上にて温帯低気圧となり、4日03時前にベーリング海にて東経180度を越えた。
<<日本への影響>> 最低海面気圧 (hPa)	宮古島(沖縄県) 945.5	室戸岬(高知県) 953.0	屋久島(鹿児島県) 951.8
最大風速 (m/s)	下地(沖縄県) 35.2	室戸岬(高知県) 48.2	笠利※2(鹿児島県) 40.0
最大瞬間風速 (m/s)	鏡原(沖縄県) 45.3	関空島(大阪府) 58.1	与論島(鹿児島県) 56.6
総雨量 (mm)※1	盛山(沖縄県) 185.0 (7月9日から7月10日)	茶臼山(愛知県) 378.5 (9月3日から9月5日)	鳥形山(高知県) 460.0 (9月28日から10月1日)
主な被災地	沖縄県	大阪府、兵庫県、京都府	鹿児島県

※1 観測地点と台風の距離に関わらず、台風や台風から変わった低気圧が日本付近に影響を与えた期間内の降水量を集計

※2 集計期間内に欠測している時間帯がある観測所です。